|  |
| --- |
| 管理番号： p-  （ 様式0-1） |

研究推進センター事務長　　殿

発　明　提 案　シ ー ト

　　 年 月 日

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 所　属 | 職　名 | 氏　名 | 内線番号 |
| 発明提案者 | ○○学部  ○○○○学科 |  |  |  |

下記の研究成果につきまして、発明として届出する適否判断の参考に、先行技術文献調査及び発明評価を希望します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| １． 研究成果（以下、発明等とする）の名称 |  |
| 1. 発明等調査のための資料\*について   \* 論文原稿等発明等の概要を表すテキスト、図等及び主要な参考文献（3件まで） | （該当記号を○で囲み、Ｂの場合は予定日を記入する。）  Ａ．本シート添付  Ｂ．後日提出　 （予定日　　　 年　　 月　 日） |
| ３． 発明等の発表に関して  (1)　公表予定　（学会発表、 web 公開等）  (2) 後日、外部調査に際して、ヒアリング対応して頂く場合があります。 | (1)（該当記号を○で囲み、Ｂ、Ｃの場合は日付を記入する。）  Ａ．期日未定  Ｂ．予定あり （予定日　　　 年　　 月　 日）  学会名、web サイト名等  Ｃ．既発表（２ヶ月以内） （発表日　　　 年　　 月　 日）  学会名、web サイト名等  (2) 現時点で出張等により左記都合のつかない時期があれば。  ×　（　　年　　月　 日　　～　　　　年　　月　 　日） |
| ４． 使用した研究経費  （e.g. 学内研究費： 個人教育研究費、学術研究特別推進費、研究推進奨励費等）  （e.g. 外部資金： 科学研究費助成事業（科研費）、学外共同研究費、奨学研究寄付金等） | 左記経費種別と、その概算額を記入する。  学内研究費：  外部資金： |
| ５． 使用した研究設備等 | 学内：  学外： |

添付書類： 1. 発明等の経過および内容説明書

|  |  |
| --- | --- |
|  | 研究推進センター |
| 確認印 |  |
| 確認日 | 年　　 月 日 |

2. 図面、見本等

3. 先行文献調査関係資料

4. 発明者の類似研究の論文等のリスト

5. その他参考となる書類

|  |  |
| --- | --- |
| ６． 発明者等の所見  （1） 発明の属する分野  （該当個所を○で囲んでください。） | (1) バイオ・薬品・医薬  (2) 電子部品・光デバイス・材料  (3) 合成化学・化学物質  (4) 機械・処理操作・光通信・ソフトウェア・ネットワーク |
| （2） 発明等の概要  ＊本欄には要点のみのご記入とし、その解説につきましては次の（３）、（４）でご記入をお願いいたします。 |  |
| （3）発明等の概要説明  -発明等に至る道筋が容易に考えつくものではないこと  -発明等が解決しようとする課題(従来技術の問題点等)  -課題を解決するための手段  -再現できる条件 -検証済又は実験を計画中だが未実現かどうか |  |
| （4） 発明等の効果  -従来技術に比し有利な効果  　（今までの技術とはっきり差異を示せること）  -想定される利用分野 |  |
| ７． 学外第三者との関係  （1） 学外第三者名及び連絡先　 社名（団体名）  (担当者所属・氏名・TEL、e-mail 等)  （該当個所を○で囲んでください。） 契約種別  共同発明の場合の持分  出願の適否 | 委託研究　 学外共同研究　 その他 （　　　　　　　　 ）  　契約上の取り決めあり　　　取り決めなし  共同出願が適当　単独出願が適当 （ 本学 ・　学外第三者 ）  その他 （ ） |
| ＞共同出願が適当な場合  （2） 学外発明者との共同発明寄与度　＊参考  ※７.（1）において契約上持分の取り決めがある場合は、その割合をご記入ください。 | 本学発明者　　　　　　％  学外発明者　　　　　　％ |
| ８．先行文献調査関係 （別紙添付可）  (1) 特許情報プラットフォーム (J-PlatPat) | ※　先行文献との技術的な差異を明確にする必要があり、発明者ご自身に調査いただいております。  文献検索は研究推進センターでも支援できます。但し、その際は事前の面談にご協力ください。 |
| a. 検索キーワード、検索式等 |  |
| b. 検索の結果及び検証（類似技術→本発明との差異） |  |
| (2) JDreamⅢ | (ファイル JSTPlus ＋ JMEDPlus ＋ JST7580) |
| a. 検索キーワード、検索式等 |  |
| b. 検索の結果及び検証（類似技術→本発明との差異） |  |

以　上

20201015